

# 院内つみ草料理の会だより

こんにちは、「院内つみ草料理の会」です。新緑の季節になってきましたね。

5月は端午の節句にちなんで「菖蒲ご膳」の食事会を行います。

日時：5月8日（日）午前11時から

場所：宇佐市院内町大門「龍岩寺茶屋」

参加費：1,000円

定員：15人（先着順、定員になり次第締め切ります。）

興味のある方は下記の事務局まで是非ご連絡ください！！

2016-5月



## ごちそう葉っぱ



スミレ すみれ スミレ... 花が「墨つぼ」の形に似ており、その墨入れが転じた名也。

野趣に咲くコリげない美しはまた格別で、短歌や俳句には盛んに登場するほど古くから多くの人々に愛されてきました。

押し花に使う方も多く、世界中に広く分布しています。

その品種は450種以上もあると言われ、色は紫もスミレ色とも呼ぶようにそのイメージが強い植物ですが白やピンク、黄などと豊富な花言葉もそれぞれに意味があり、

『誠実』『謙虚』『小さな幸せ』など

開花期は3月～5月

中には秋頃に咲く品種もあります。



また、作曲家ショパンやフランス王妃マリー・アントワネットにオーストリア皇妃エリザベトはスミレをこよなく愛したとして有名ですね。

その中でも『スミレの砂糖菓子』の作り方をよく洗ったスミレを乾かし卵白を刷毛で塗り、グラニュー糖をかけます。しっかりと乾燥させるとキラキラと輝く宝石のような仕上げがりに。

紅茶やホットミルクに浮かべたり、ケーキに添えて... 咳止めや口内炎の消炎剤としての効果があり、風邪をひいたときにもよき草ですね。

優雅な気持ちでリラックス

## スイズラ 昔、こどもたちが花の付け根にある蜜を吸って

遊んでいたことから『吸葛』と呼ばれ、砂糖がない頃の代用とされていたことも。

冬でも葉や茎は枯れず、寒さに耐え忍んでいる様子から



生薬名は葉をニンドウ『忍冬』。とある有名な神社では、神様へ忍冬と百合根を供える儀式、鎮花祭(葉祭り)が今でも続いており、当日参拝者へは忍冬と神水で作られた、忍冬酒が配られるそう。徳川家康が長寿の酒として飲んでいたとも伝えられているものですね。

そして、花をキンギンカ『金銀花』

初めは白く、次第に黄色に色付き、入り乱れて咲くとその輝きはまさに金銀とにぞびる淡い紫を帯びることもあり、一つの花で三変化を楽しむそう

受粉は夜行性の蛾の仲間におよび、開花とともに豊かな甘い若香を放ち夜間により強くなるため、やがて秋になると紺色の実を付け、染料に使われることもあります。

花言葉は『愛の絆』『献身的な愛』『友愛』花期-5月～7月・効能-消炎・腰痛・利尿

stylist - Sayako Abe / supervisor - Tadanori Yano



発行：院内つみ草料理の会  
(事務局) 院内支所市民サービス課

TEL：0978-42-5111  
(内線：137 担当：吉田・綱中)  
FAX：0978-42-5115

